

【授業記録】 第4回全体学習 全体授業

主 題 誇り得る「ふるさと」であるために

1994年11月25日

授業者 河野 昭一

T₁: MFさんお願いします。MF(女):「起立、礼。」

全体:「お願いします。」

T₂: 2年E組の人みなさんご苦労さんでした。2年生のE組の授業で深まったものをさらに全体で深めていきたいと思います。2年E組の授業の後半部分でもう少し考えてもらいたいところが出てきました。みなさんの毎日の生活の中でも、そういう場面を見ることが数少ないとは言えないと思います。そのあたりのことで、もっともっと深くみんなで考え、新しいものみつけていきたいと思います。一つ確認しておきたい。もう一回確認しておきたいことがあります。2年E組の授業でも、お父ちゃん・お母ちゃんのことを尊敬する。ほんまに好きじゃ。「お父さん・お母さんの生き方はほんまに尊敬できる」って言ってくれたんだけど、でも見知らぬ人にいざ自分の地元・板野のことを聞かれたときに“ドキッ”とする。このあたりのことをみんなで全体で考えていきたいと思う。他の人達はどういうふうに感じるだろうか。どういうふうに思っていることを確認したいと思う。どうですか、わかったかいな。言っている意味わかったかいな。“板野って言うときにやっぱりこうひっかかるもんがドキッとするもんがある”っていう意見が1つ2つ出てきたんじゃけれども。発表する人はちょっと見にくいけんしっかり手を挙げてくれな。はい、どうぞ。

ST(男): 僕はふるさとを誇りに思っています。ふるさとを隠すことは自分のふるさに誇りがもてていないと思います。そして、ふるさとを隠しているうちは本当の自分になれないと思います。だから僕はこれから生きていく中で、ふるさとを堂々と語っていきたいです。

T₃: はい、ありがとう。どうですか他の人。はい、どうぞ。

M(女): えっとさっきの板野町のことを他人に言えていうことだけど、私は他のところから来たんだけど板野町に来て良かったと思う。板中でこういう学習できて自分がどんどん成長していくんわかるけんごつつい嬉しい。でもこれからいろんな人と出会っていくなかで(板中はこういう学習しとうけん、全員はわかってくれんかもしれんけど、理解してくれる人の方が多いけん安心できるけど)高校とかだんだん大きくなっていくなかで学習していない人に出会って「自分が板中から来た」って言えるかどうかすっごい不安なんやけど、あと板中で過ごせるのが2年あるけん、もっと力つけて絶対に胸張って誇りを持って板野町で住んでますって言えるようにしていきたいと思います。

AK(女): 私もST君みたいにふるさが好きだし、お母さんやお父さんも家族みんなが好きです。だから、私はみんなの前で板野町から来ましたってしゃべれると思うんだけど、やっぱり私もMさんみたいにだんだん大きくなっていて県外とか出ていくかもしれないけど、そんなときにもし誰かに「板野町です」って言って顔色を変えられたりしても、私はその人に立ち向かっていくっていうか、その人とちゃんとわかりあっていけるようにしていきたいです。

MS(男): 僕は今までこの全体学習をしていく中で板野町が差別されているということをはじめて知った。でも、僕は板野町に生まれたことを誇りに思っています。いろいろな友達ができて徳島にも友達があります。その友達は差別する心を持っていません。みんなと仲良くしていく心はいっぱい持っています。だから全国にこんな全体学習を広めていきたいと思います。

ST(男): この前1Cで出たんが部落の子がおるけん板中が差別され、ほんで板野町が差別される

って意見が出たんやけど、僕はそのことに対して腹が立つんよ。自分が部落の人間というのもあるんやけど、やっぱり人間ていうんは姿、形や性格が違ってても人間の価値っていうもんは一緒やけん。人間ていうんは性格とかも違うけんおもしろいの、それなのに部落の人間とか、部落の人間と違うとかいって差別することがあるけん、これから出会っていく人の中でそういう人いたらもっと話し合って説得したい。

T4: はい、ありがとう。今の意見は、もうちょっと後で確認したいと思います。

TK(男): 板野町が差別されているということを僕は知ってそれは部落民である僕らのせいなんかなくて前までは思っていました。でも、学習会にいきよるみんなも同じだと思うけど僕のお父さん、仕事とかいろいろなこと一生懸命頑張っている。差別する人はいったい僕らの何をわかってそういうことを言うんだろうって僕は思う。クラスには僕のことをわかってくれるとうかそういう仲間がいるんだけど、その仲間は僕がもし何か失敗をしても部落のこととか関係なしに怒ってくれる。だから僕は、部落とか部落でないとかいうん関係なしに、人間としていったい何ができるのか、そのことが大事だと思います。部落差別はただ部落が悪いという思いこみだけで続いている差別と思うので、みんな人間なんだからちゃんと誇りが持てると思う。だから僕も頑張っていこうと思います。

T6: はい、ありがとう。ちょっとごめん待ってな。何人かの意見の中で1つ気になることがあったんだけど“板野町に誇りが持てない。板野町が、板野町以外のところで差別されとんでないか”その理由として“部落の子がおるけん板野町が悪うに言われるんじゃ”っていう意見。そのことについてみんながどう思うか発表してもらいたいと思います。TK君が発表してくれたんだけど続いてないですかね。

DO(男): 僕は板野町が差別されるのは部落があるから差別されるんじゃないなくて部落というのを板野町の一部の人が板野町内で差別をしているから他の人たちも差別されるんだと思う。同じ板野中学校に通っているし、板野町に住んでいるんだから、全員が同じ思いで心を1つにしなければ板野町の中でも部落差別は消えていかんと思う。

YM(男): 僕は徳島から板野へ来たんだけど、板野町を本当に誇りに思っています。板野へ来て本当にすばらしい仲間と会えて・・・(絶句)思い出したらまた発表します。

YT(女): 全然話は違うんだけど、さっき1年生が「板野町に来てよかった」って言うてくれたことがすごく嬉しかった。一人一人がわかってくれるとうか、板野町がどういう所だと理解することがとても大切だと思いました。そのためには、やっぱり私たちが住んでいる板野町をみんなにわかってもらうことが大切だと思いました。だから「板野町はこういう所です」という感じで話したり説明できたらいいなと思います。

SA(女): 私は小学校の時から学習会に行っていました。私が初めて自分の住所を人に言うたら自分が部落っていうんがわかるって知ったときにすごいショックだった。正直言うと、お母さんとかお父さんを恨むっていうんはおかしいんやけど“どうして私をこの地区に生んだん”という感情を持ったことを覚えています。そして住所なんか、もう言いたくないなって思ったりしたんよ。それで私が今年の一泊研修に参加して学んだことなんやけどちょっと話がとぶけど自分の住所がためらいもなく言えるってことが、ほんまに自分に勝つていうか、だんだん成長していくことやと思う。でもさっき、この話し合いで言っていたことなんだけど“部落に生まれた人は絶対悪いことをしとらん”とうか、“悪いことしてないのに”っていう意見を聞いて私が思ったことなんやけど歴史的に見て部落の人って残虐なことしとるよな。でもそれは部落の人が自分から望んでした仕事と違うし、農民や他の人が決めた仕事でもない、ただ決めたんは一番頂点立つ武士だって私は教えてもらた。それはほんまのことやと思うし、私達がほ

んまに怒らなあかんのは、ただ少数の人（権力者）やって教えてもらった。私、最初そのことを信じられなかったんやけど、今はほんまにそう思うんよ。ほなけん、そのことを、歴史上っていうか、（そのことは私だけが知らなかったんかもしれんけど）はつきりさせながら、私は事実を知りながら差別と闘っていきたいと思います。

MH(男)：部落外の子が「板野町は部落の子がおるけん差別される」って言うんだったら、そういう考えはやめてほしい。「板野町は部落の子がおるけん差別される」って考えは、自分と関係ないと思っていることになると思う。部落差別を自分の問題として考えてほしいと思うし、板野町を変えていくんはみんなを変えていくしかないから、部落の子が悪いとか言ってほしくありません。

KN(女)：谷村新司さんの手紙の中に「夢は夢にあらず」という言葉があって、私はその言葉をたぶん「夢は夢で終わらせたいかん」ということだなって思ったんだけど、差別も中途半端で終わらせるんじゃなくてきちんと全部終わらせた方がいいんじゃないかなって思いました。差別がなくなるのは夢じゃなくて、本当になくさなければいけないと思います。

MF(女)：私は中学校の1年の時から部落問題学習してきて、ずっと自分の中で部落のことを差別するんは全部部落外の人だって思ってたんよ。けどな、この前のI高暴力事件のことで親戚の叔父さんと私とお母さんとで昼ご飯食べながら話したんよ。その時に、I高の暴力事件の話になって、暴力ふるった1年生の話になって、どこの子なっていう話になってきたんよ。私のじいちゃんFの人でな、Fの部落生まれだったんやけど、そのじいちゃんが「きっとS地区の子じゃ」って言うたんよな。私とお母さんが気づいてな「なんでS地区が出てくるん」って聞いたらな「いやほなってほういう気がして」って言うんよ。I高に行きよんはS地区の子だけでないのに・・・。「なんで、わざわざS地区が出てくるん」って聞いたらな、なんちゃよう言わなかったんよ。ほんで話題を変えるようにして別の話題に入っていったんだけど。同じ部落出身なのになんでわかろうとせんのかなと思いました。その時までずっと“部落のことを差別するのは部落外の人じゃ”って思っていたけど、それこそ私の差別心ではないんだろうかって思うたんよ。部落外の人を私が差別しとんでないんだろうかって思うたんよ。

T₆：どうだろう、今の意見。つなげていってもらいたい。

KH(男)：きれいごとと言いたくないけん、はつきり言うんやけど。僕は板野町S地区で生まれだけど、1年生の意見を聞いていたら、なんかきれいごとを言っている感じがしてごっつい腹立つ。それで、今も言っていたようにS地区だからって、部落だからといって、悪いのは仕方がないっていう風なこと、あきらめているような感じするんやけど、でも部落差別をなくしていこうというのだったら、たぶんここにいる人みんながそう思っていると思うんやけど、なんと言ったらたらいいかようわからんのやけど、いつもS地区が悪いって言われている。そういう立場っていうか、なんかクラスで聞いたり、いろんなところで聞いたりするんやけど・・・僕はそのS地区に思い出がいっぱいあって、友達もいっぱいあって、いっぱい思い出が詰まっていた大切な所なのにけなされるように言われるのはごっつい腹立ちます。

T₇：どうですかつづいてもらえますか。はい、この思いにふれてつないで下さい。

ST(女)：きれいごとっていう言葉が出たけど、自分がきれいごとを言っているのか、言っていないのか自分でわからんのやけど、自分では「きれいごとと言わんとこ・言わんとこ、自分のほんまの思いを言おう」と思うとんよ。そのかわりなんか緊張するんよ。だから心の中で自分がきれいごと作っていつている気がするんよな、心が勝手に。だから今やって一生懸命ほんまの思いを言おうとしているつもりやけど、もしかしたらきれいごとと言ようかもしれないんよ。そんな自分がごっつい嫌やけん、ほんまの思いを言うていきたい。

RI(女) : さっきの話にもどるんやけどMFさんが「部落外の子から部落は差別される」・「部落の子からさえ差別された」って言ってたけど、私もお母さんと話していて、自分の親から「あんたは部落の血が半分しか入ってないけん結婚しても部落外やけん」って言われた。私はお母さんからそんなことを聞きたくなかった。お母さんに私が部落外じゃって言わせることがすごく苦しかった。今は泣いてばかりやけど、お母さんにこんなことを話させないようにしたいと思う。

Ta : はい、ありがとう。思いにつづけていってもらいたいんだけど、どうですか。

YK(女) : えーと、いろいろ聴いていて、一人一人のことについて、言いたい事がいっぱいあるんだけど、どうしても言いたい事を2つメモってきたんで言わせてもらいます。昨日、私の尊敬する先生に電話をしました。『今日の全体学習にもし来れたら、是非来て下さい。』って前日に言うんは、ちょっといきなりなんです。それで、その先生から私自身がすごく元気が出ることを1つ教えてもらいました。みんなにも元気出して欲しいから、どうしても話したくなったので、言わせてもらいます。まず1つめは、こんな一生懸命、部落問題学習したって、江戸時代から200年も経ってまだなくなっていない差別、『どうせなくなれへんわ。』っていう気持ち、私の中にもあったんよ。今から200年先のことを考えてしまうんよ。『200年続いてきたから、これから200年経っても、まだ残るんちゃうかな?』って思ってたんだけど、みんなの部落問題学習への取り組みは、私が10年前に受けた部落問題学習とは全然違うんよ。私が中学時代は、全体学習なかったし、クラスの中で、1人の先生に対してみんなが“きれいなこと”“先生に『ああ、ほうな。』って言われること”ばかり、一生懸命考えて発表していたし、感想文とかも、きれいなきれいな言葉書いて、“先生からマルをもらえたらええな”っていう感じの部落問題学習しか受けてなかった。10年前、たった10年ですよ、200年と10年比べて下さい。今年、私が自分のふるさとも呼べる、板中に帰って来てすごく正直になれるっていう部分があるんです。だから、部落差別をなくそうっていう運動とかが、ほんまに、真剣に行われるようになってほんまに10年か15年ぐらいと思うんですよ。その間にごっつい世の中変わってきたと思う。それより前だったら、部落の人と部落外の人が結婚するっていうたら、“絶対あかんこと、間違ってること”みたいに言われてた時代だっただろうけど、今は違う。例えば私の姉にしても、反対されながらも結婚しました。できました。姉がそうやって結婚できたことで、私自身とっても勇気づけられたわけなんです。ほんの15年でこんなに変わるってことは、これから先10年くらいを考えてみて下さい。みんなが23才とか、ね、24、25才になったとき、もっと変わってると思うんよ。だから『どうせなくならんわ。』って思わんといて欲しい。そう思ったら、やっぱり暗くなってしまう。この部落問題学習が嫌いな子もおると思うんよ。その子の心の奥を見てみたら、『やったってしゃあないわ。』っていう気持ちがあるかもしれない。それをちょっとこう、180度かえて『きつとなくなる。』って考えて欲しい。私もその先生から、昨日教えてもらってそう思ったから、みんなにも頭の隅っこに入れておいて欲しいなって思います。それが1つ、もう1つ。それは、今日会場に來ている人にも聴いて欲しいんですが、私は学習会の専任指導員をしています。今まではあまり思わなかったんですが、今日はたくさんの方が親に來てくれて、たくさんの方がビデオが回っていて、たくさんの方がカメラがカシャカシャあっちこちでみんなのアップを撮らえていて・・・敏感になるんです。すごく気になるんです。今までは、どういう風に敏感だったかって言うと、例えば、学習会の会場で、生徒のプリントを綴じていくファイルをガラス張りのロッカーに立ててあったら、学習会以外で來た人がそれを見て、『ああ、誰それさんは部落の子なんやなー。』って知って帰る。どう言うんだろ。部落の間を、えー、何て言うたらええんかな。『部落の子じゃ。』って知ってしまう。でも知るだけ

で終わってしまう。今日のビデオやカメラ回している人は、ここに来てくれたってことは、絶対部落問題学習を必死で考えてくれて、『部落差別をなくしていこう。』という気持ちの人ばかりと思うから、信用して、良いと思う。でも、ちょっと心の片隅で心配な部分もある。どんどんビデオなんかもダビングできる時代やし、どこかで、この板野中学校の誰かが部落宣言をしてる姿が全国のどこかで、映って……。この中に、自分の子どもはおらんけど、例えば自分の子どもがおって、部落宣言した時に、その姿が全国で流れるって考えたものすごく辛いです。だから……。部落問題解決のために使ってください……。お願いします……。以上です。

T₀：ありがとうございます。はい、どうですか？つづいていつてもらいたい……。

DT(男)：えーと、部落があるから板野が嫌われるっていうことで話をします。それで昨日、先生から『部落があるけん、板野が嫌われとう』って言われて、僕は『部落の人は、なんも悪いことしていないから、そういう考えはおかしい。』って思たんです。でも、今日の授業に参加して、奇麗事って言った人の、その言葉がすごく自分に響いてきて、その時に、『あの時自分が思ったことはほんまは奇麗事ちゃうんか？』って思った。本当の自分の心の中は、『部落の人がおるけん、やっぱり嫌われとんちゃうんか？』って思っているのかも知れん。そんな自分の汚い心をどんどんなくしていきたいと思いました。

T₁₀：はい、ありがとうございます。正直な部分でな、正直な部分で自分の心中を見ていこうな。心に何かをかぶせて（ほんまそれこそこの間の学習会でないけど）鎧をかぶせ、かぶせでは何の解決にもならんし、自分自身との闘いだと思うからな。ほんま、自分の正直な部分で考えていきたいと思います。そこでだ、なんで？なんでこんな意識が生まれて来るんだ？みんな、『部落であろうがなかろうが、関係ないでないか』って。考えてきとるよなあ。そのこと『ああ、当たり前じゃな』って思うよな。ほななんでな、そういう意識の中で、こんな『部落があるけん、板野が悪うに言われるんだ』っていうことが出て来るんだらうか？そこに何が、どういう意識があるのか……。自分たちの心の中の何がそんなことを言わせているんだらうか？

TA(男)：あの……。みんなが、勝手に、『部落が悪い』とか、変なことばかり言っているから、ほなけん『板野が悪い』とか、そんな“ごじゃ”ばかり言うようになったと僕は思う。

T₁₁：ほんま、“ごじゃ”ばかりだよな。はい、どうですか？

HK(女)：えーと、『部落があるけん、板野が悪い』って言うの……。部落の人が聞いたら、ものすごくつらいと思うんよ。部落っていうのは、世の中では少数で、その中に私も入っとなやけど、私もこのことを聞いてすっごい辛いんよ。……。ほなけどな、そのことに今の私は立ち向かっていけんのよ。自分に負けとんよな。ほんで、こんなん聞いて腹立たん人もおるし、どうでもいいって思とる人もおるかもしれんけど。こんなん、部落の人が聞いたら、自分の事やけん、放っておけんと思うんよ。でも他の人は、「ほんなんどうでもいい」って思っているかもしれん。この中にはそんな人はいないと思っているかもしれんけど、もしかしたら、1人や2人はおるかもしれんのよ。こんなん聞いて腹立たんて言う人もいるかも知れんし。そんな人はな部落の人の立場にとっては絶対に許せんことなんよ。『部落があるけん板野が悪い。』と言うけど、部落の人はなにも悪くない。部落の人も部落外の人みんな同じ人間なんよ。ただ、大昔に無理矢理部落に住まわされて、部落の人は悪いように思われとんよ。だから、部落って所は『良い所じゃ』って言っていったら『板野は良いところじゃ』って言ってくれると思うんよ。けど、そんなことではたとえ部落がなくなったとしても、他の差別がまた生まれて来ると思う。だから、『部落が悪いから板野が悪い』って言うことは、やっぱりおかしいと思う。

TI(男)：『何が差別を残してゆくか？』って言うんが質問だったと思うんやけど？それは自分の

中で、理解するだけではあかんと思います。自分では、そんなこと『自分は部落民だから』とか、『あいつは部落の人間やけん』とか、考えるのは、ほんな昔の……。自分で“ダサイ”と思います。カッコ悪すぎだと思います。ほんで、何が大事なのか？と言ったら、自分の中だけで理解するんでなくて、考えたことを間違った人に自分がどれだけ言っていけるかが、残ってるか、残ってないかの問題だと思っています。

T₁₂ : はい、どうですか？続いて発表してもらいたいんだけど……。はい。

KY(女) : えーと。話は変わるんやけれども、小学校5年生の時に、自分が部落出身って事を知りました。私達は3年生で、もうすぐ受験があるんだけど、『高校に行ったら、1人になるのかなあ』って思います。クラスの中で『部落出身者が自分1人になるのかなあ』って思って、とても不安なんです。不安だけど、何かこう、はっきり言うてこんな部落問題学習するのがしんどいです。2年生の時は……。発表どんどんしていたけど、自分が……。奇麗事言ったりして、形が欲しかったんです。“自分は今発表している”とかいうて……。ほなけどやっぱり奇麗事とか言うんでなしに、みんなで本音を言い合っていきたいと思います。

YS(女) : 3Bは今、差別に負けている子、差別から逃げている子、差別のせいで学校に来れん子がいます。今日も何人か休んでいます。学校に来て欠席者がようけおって、なんか気が抜けたんやけど全体学習が始まった時に1人が来て、それで救われた気持ちになって、そのお陰で今手を挙げようという気になりました。先生が、河野先生が言った、『差別を残しているものは何だろうか』の答えは、差別に負けている3Bのみんな差別から逃げているみんな、みんなの事だと思います。頑張ってた子を犠牲にしたくないんだったら、3Bのみんな頑張って下さい。

T₁₃ : はい、ありがとう。毎日の生活のいろんな場面が浮かんで来ると思うけど、はい、続いていて欲しいと思います。

YT(女) : 板野町が下に見られている事について言います。やっぱり、人の心の中には『他人を下に見たい』っていう気持ちあると思うんよ。『誰々よりかは上で見て欲しい』とか、『誰々よりは下やな』とか、そういう風な気持ちあると思うんよ。そんな心の中で最終的に行き着いたのが板野町が悪いつていうことになるんだけど、多分そうだと思うんだけど、そんな中で板野町がどんなに良い所かを言っていくこと、言えることが大切だなって思いました。そして、その中で勝つてこそ自分で『～と思う』とか、『こう思う』とか考えが浮かんでくる。次から次へと言いたいことが浮かんでくるような気がして……。だから話をするのが大切だということもあるんだけど、前に言った、人を下に見るっていうこと自体間違いないんだから、人を上下で見るっていうより上に向かって、みんなで歩んで行くことがすごく大切だなあと思いました。

T₁₄ : ありがとう。続いてもらいたいです。

KS(女) : 私のクラスでいつも部落問題学習の時間、必ず何人か休んでいる子達がいて、その子達は部落問題学習が嫌いとか思っているみたいです。私は今日の全体学習に、その子達に参加してほしかったです。参加してみんなの意見を聴いて欲しかったです。今日の2Eの全体学習を見ていて言葉にならないくらい感動しました。先生がさっき言ったことについて、何て答えたらいいいのかうまくは言えないけれど、やっぱり自分から一生懸命そのことについて考えて、今休んでいる子とかに『学校来(き)いよ。』と自信を持って言えたらなくなっていくと思います。

MO(男) : えーと、B組のSさんが言うように、3Cにも何人か休んでいる子がいるけど、そういう子が学校に来れるように……。まずは3Cの中の差別を無くしていきたいです。

AI(女) : ちょっと前のことになるんやけど、『先輩が「1年生は奇麗事を言っているみたいじゃ」

って言った時……。私、はっきり言ってすっごく腹が立ちました私は……。こんな所で奇麗事言いにこんな所で発表しよんと違う。私は……。自分の為に発表しよんのに、こんな所で奇麗事言うわけない。だから腹立つって言う前にもうちょっと1年生っていうか、発表した子達の気持ち考えて欲しかったです。それともう1つ言っていていいですか?1時間目の『部落の子が板野におるけん板野が差別される』っていうことで話し合った時、私ははっきり言って腹も立てへんかったし、悔しいっていう気持ちも全然わかんかったんやけど、ずっと2年生の授業聴いてう間に、私はすっごい腹立った。部落なんてどこにもなくて、勝手に『部落の子じゃ』って差別している人があるだけなのに、『噂の板野じゃ』などと周りの人に言われてほんまに腹立ちました。1時間目の授業はすっごく自分が倡じられなくなるくらいほんまに腹立った。だから今私がこんなところで発表したって周りの人に伝えることやできんのかも知れんけど……。ほんまに……。何て言うのかな?言葉まとまらないんだけど……。ちょっと言葉がまとまらないんだけどいいですか?

T16 : うん、分かる、分かる。ほんま、みんなそれぞれ苦しんでと思うんじや。みんな自分の中でほんまに美しい自分というものをみつけていこう、みつけていこうと苦しんでと思うんじや。それがな、それが解決への一步一步になると先生は思うんだけども。その中でな、苦しみがいろいろなことをみんなので語り合っていくことで、本当の美しい自分をみつけないか?』っていうことをみつけないか?』っていうことをみつけないか?』

SA(女) : さっきからずっと考えていたんだけど。私が最初学習会に行っていたっていうか、さっき先生が聴いた、あの……。なんて言うんだろう。自分が部落に生まれたことによって、私はすっごい自分自身が嫌だったんよ。『部落なんかはどうして生まれてきたんだろう』って。部落に対してすっごい腹が立ったし。うん、さっきも言ったように、お母さんやお父さんに対しても嫌だったし、『生まれてこないほうが良かった』とまで思った。それからこの学習していくうちに、なにか自分が部落に生まれた事は(こう考えたことは逃げることもしんけど)「もうしやあない」と思った。その「しやあない」の中で、『自分はどう闘っていこう』って考えた。『自分は差別を無くしていく中で、どんなに闘えるだろう』って。最初「どないにしたらなくせるだろう」とか一生懸命考えたけど、まず自分の気持ちに整理をつけていこうと思った。さっきも言ったようにどういう事実があって、それで私達は何に対して怒りをもつべきなのか。私もまだ悩む時とか考えこむ時もあるけど、まずやっぱり大事なことは1・2年生も同じだけど、それぞれ一人一人が自分に正直になって考えていくことだと思う。さっきから言っている事が『あれは、ほんまに正しかったんかな』って思う時あるけど、まず自分の本当に思っている事を言っていくことが大切だと思う。そうすることでみんなの心が絶対に動くはずだから。そう思います。

T16 : はい、ありがとう。今の意見に続いていこうか。今のに続いていこうな。

(KH)男) : さっき発表した1年生に言うんやけど、さっきは『S地区が悪い』って言われて何か腹立ったんといっしょに、発表することで緊張しとって……。こうまあ、「奇麗事言よる。」って言ったんやけど……。さっきはすみませんでした。ほんで、僕も「差別を無くしたい」ってほんまに思っているけど、さっきもK先生が言ったように、ずっと差別は続くと思っていて、それで学習会の一泊研修の時も『部落差別はなくならんのか』って……。ほんまに自分が思うけんそう言ったんやけど。だって、ふるさとを言えんということは逃げとることで、やっぱりそういう人があるし、ふるさとというか、住所を聴いたりなにかそういうことをする人もいるわけで。そんな時、その聴かれた人が困った顔でもしたら『やっぱりこの子は部

落なんじゃ』と思うのかもしれない。なにか図に乗るって言うたら変やけど、そんなこと思っているかもしれない。やっぱり最初は自分に勝っていかなあかんし……。うん、そう思うし、まあ、いまは1年生に悪かったって思って、悪いことしたなあって思って発表しているんですけども、僕も部落差別をなくしていこうと思っています。さっきはすみませんでした。

T₁₇ : 絶対なくすよ!部落差別なんか絶対なくしていくけん。その為のみんなの学習やろ。絶対なくなるよ。Iが言ったけど、“どたつすいこと”でないか。なくなるよ。絶対。暗くなる必要ないんじや! な、K。

NS(男) : 板野に部落があるから雰囲気が悪いんじやって言うのは、そう言われたらほんまの僕の正味の気持ち言うたら……。そう言われたら、自分も……。そういう気持ちがあると思うんよ。それで昨日そのことでC組も夜まで残って話し合ったんやけど……。話していて今まで部落問題学習が、楽しみだったということは一度も無くて、昨日初めてこの学習が楽しみやなあって思いました。

T₁₈ : 続けていこうな。続けていかな嘘やな。

YM(男) : ちょっと今、自分が思うとる気持ちをまとめて言うけど、今ほんまに改めて自分が何をしていたかなければならぬかを感じました。何で人の悪い所や欠点やを攻めたりして苦しめ合ったり、殺し合ったりしなければならぬのかと改めて感じました。ほんまに……。自分は人間として何をしなければならぬかというのを考えていました。やっぱり人という字は支え合っていてできる文字なんですけど、やっぱり今、僕も今まで人をけなしたりしてきたけど、口で言うだけでなくやっぱり心から全神経を集めて言うのが本当の強さだと思います。やっぱり外見だけを責めるのは自分でも卑怯だと思いました。ほんまに自分がなんて言ったらええんかなあ、『ほんまに僕を憎んだったら心にグサッて来るような言葉を言えっ』て言いたいような気がするんです。外見だけ見て『お前は目が小さい』とか、そんなんばかり言うんじやなくて……。やっぱり自分の心から思った事を相手の心に伝えることが本当に人間として輪になっていくような人と人との関わりが深くなっていくと思うんです。僕は今本当に反省しています。ちょっと緊張して言葉は綺麗になっているんですが、それでちょっと分かりにくい思うんですが。本当に僕は人間の一員としてみんなについていうか、間違った心を持っている人とか、そういう人に自分をきっちり鍛えてから本当の仲間作りをしていって地域とかだけじゃなく本当に人間代表というかなあ、人間としての自分を表現して、世界とかにも訴えていきたいです。

T₁₉ : はい、ありがとう。もうあんまり時間が無いので、最後に発表して終わりたいっていう人、手を挙げといてもらいたいと思います。覚えとておいてな。順番に言ってもらおうと思うから。Kからお願いします。

ET(男) : 話は戻るけど、差別をなくすには本当の自分をさらけ出すことだと思います。差別をなくすには本当の自分をさらけ出して本音を言うことだと思います。

AN(女) : あんな、私自身が差別しよところがあるんよ。就職差別の話聞いた時“ああ部落に生まれんで良かったな”って思うんよ。そうやって思ったことをみんなの前でずっと言っていくつもりなんやけどな、じゃあ私が差別する気持ちってほんまに無くなるんかが知りたい。

T₂₀ : 今の発表みんな聴けたかなあ。「自分にはこんな差別心がある」と言っていくこと。「自分の心の中にドロドロした汚い部分がある」と言っていくことがほんとうに差別解消になっていくのだろうか。そうやって『自分の汚い部分を見つめることによって、差別がなくなる方向に進んでいくのだろうか。私にはまだはつきりしない。疑問に思う。みんながどう思っているか聴きたい。』ってい発表があっただけど、みんなでこのことについて考えてみたいと思います。

YT(男)：やっぱり自分の中にある差別心を見つめることができて、それをみんな友達に言っていたら、そのことをよう分かってくれて、差別心や自分の汚い所を出していったら友達もみんな分かってくれると思う。そして『分かってくれてよかった』っていう気持ちになると思う。やっぱり差別心なんかはそういうように自分の汚い所を見つめていったらなくなるもんだと思います。それともう一つ、『板野が悪く言われるのは部落があるせいじゃ』ということについてだけ、そんなことを聴くと僕には学習会に行っている友達がいっぱいおるし、『部落があるからじゃ』とか言われたら“その友達が学習会に行つて、遅くまで暗くなるまで頑張っている。頑張っている人がいるから板野が悪く言われる”って言われるみたいで、『何で、何でそんな遅くまで頑張っている人達が、悪く言われなあかんのな』って。なんかごっつい許せん気がします。僕らも一緒に遊んだりしているし。部活とかも一緒にやっているし。そんなことと言われるような悪い所は全然無いのに。何でそんなこと言うんな。さっきのI高校の暴力事件の話であったように“何でそんな子のふるさとが疑われなあかんのかいな”って。そんな・ ・ ・『悪いことしているのを見た事があるんか』って言いたくなります。うわさだけでそんな事言われたらたまらんとと思う。それにそういう事を聴くとその周りの町やそんな所には部落の事をまだそういう目で見ている人がいっぱいいるんだなと思えてきて、身近な所にまだまだ差別はあるんやな、って感じます。

TK(男)：僕は部落差別はどうしてかなくなるなんて思えなくて“差別の中で差別を受けながらも一生懸命頑張っていけたらそれでいい”って思っていたんだけど、今日の学習をしていくうちに部落の子も部落でない子も一緒になって考えてくれる、分かり合えることができるって思えてきました。差別は人が作ったものだから分かり合っていくことでなくせるって僕は思いました。

EN(女)：やっぱり差別をなくすっていうことは、部落差別を自分の問題に引き寄せて考えるっていうことが大切だと思います。1時間目で話し合ったんだけど、『部落の子がおらんようになったら板野町は差別されんようになる』っていうことで話し合ったんだけど。ほなけど、それをもし自分の問題として考えてみたらなもしも、もしも『Nさんがいるからこの1年D組は成績悪いんじゃ』とか、そういう風に言われるのと一緒と思うんよ。そんなこと言われたらごっつい辛いよ。それって自分の事に引き寄せてないけんそんな事が言えると思うんよ。今、何にも思っていない人とかは自分の事として考えてないからそんな事ができる。そんな事が言えたり差別したりできると思うんよ。私も差別しよるけど差別をせん人間になろうと努力しよんよ。ほなけんまず自分の問題として考えていって差別をなくしていけたらと思いました。

IU(女)：私もNさんと同じように、1Cで出た『部落の子がいるから板野が差別される』っていうのも、そう言った子も多分自分の事に引き寄せて考えてないと思う。だいたい“板野”って言ったら“部落”って言われて。部落とか、部落外とか無しで、もう“悪い子”って思われてしまっているから、みんなで力を合わせて『そうじゃない』って言っていかないけないのに、そういう時に『部落の子がいなかったら・ ・ ・』などと考えたらいけないと思う。

T₂₁：そういうように思わすものが何かということ。どうしてそんなこと思ってしまうのだろうかということのをちょっと考えてみたいなあ。

RM(女)：4時間目に私の周りの席の男子とかが、『次の全体学習、嫌やなあ・ ・ ・』とか言ってたんやけど、それを聞いてごっつい腹が立ったんよ。それで『そんなん言うんやったら出て行け』って言いたくなってきて、そんなこと思っている子がいるから差別が一向になくならんし、私らは差別をなくしたいって一生懸命思っているのにそういう子がいるから本当に困る。さっきまで私は泣いていたんだけどHさんからいい言葉をもらってすごく感動した。そうい

う友達を持ってすごく嬉しい。そういう子に助けられながら私はここにいるし、こうやってみんなの前で話ができるんです。Hさんのように一緒に差別に立ち向かえる友達をみんなが持つて欲しいと思う。

T₂₂：一緒に頑張っていこうな。はい、Y。最後締めて下さい。

KY(女)：話は変わるけどみんなは板野町についてどう思うか分かんけど、私は板野町を誇りに思います。『なんで』って聴かれたらはっきり言えんかもしれんけど、私は板野町やこの板野中学校を誇りに思います。

吉成：すみません。今出ているいろんな課題を学級に持ち帰って、そして再び考え直して欲しいと思うんです。そうしていくことがこの問題を学習していく中でそれぞれの力になっていくと思うんです。そういった意味で今様々な課題ができました。これをまた学級に帰して話し合っ、そしてまた次ここに三学期、全員が寄ることがあると思います。今度は1年生の全体学習やったと思います。その時にまた議論を尽くしていきたいなと思っています。今夜偶然にも山田洋次監督の“学校”という映画があります。まるでこの授業のためにあつらえたかのようにあります。この映画を観て『“本当の幸せ”って何やろうか』ってことを、今夜、家の人としっかり話し合ってもらえたらな、ってそんな風に思います。以上です。

DH(男)：僕はこの板野町が大好きです。でもこの板野町を“あかん所”と言う人がいます。だから僕はこの人達に、『板野町はほんとうにすごく良い所だ』ということが分かってもらえるように頑張っていきたいです。

T₂₃：板野は良い所です。そして誇りをもてる所です。町です。そんな大切な町をいろんな形でけなされる、差別される。差別されることを何回も見てきたと思う。ほんまに自分の“ふるさと”っていうのを誇りに思えるようになりたい、そう思っているんだけどもいざ自分が町外へ出た時に「どこから来たんで」と聞かれた時ドキッとする。それは何なんだろう、どうしてなのだろうかということをもう一回じっくり考えてもらいたい。どうしてなんだろうかな？『ここ好きじゃ。』って思っているのに。でもどっかで板野っていうのをためらう自分がある。そのあたりのことをもう一回（吉成先生に先にまとめられてしまうけど）もう一回自分の教室に帰ってじっくり考えてもらいたい。そして自分にとっての部落問題学習、自分にとって全体学習って何か、何を目指して頑張っているのかっていうことを。そして最初STが言ってくれたんだけど『本当の自分になりたい』『ほんまの自分とは何か』ってことについてもっともっとこれから学級で話し合っ、ほんまに自分のものにしていってもらいたいと思う。今日はいろんな人の意見がいっぱい聴けて嬉しかったです。今日の授業でそれぞれいっぱい課題を見つけたと思う。それぞれみんな学習したことが心に残つと思う。それをまた学級でどんどん膨らましていってもらいたい。一つ一つ解決していってもらいたいと思う。そしてね、ほんまに『板野町は素晴らしいところじゃ』って言える人間になっていこうな。はい、終わります。

起立・礼